

令和3年3月25日

実施報告書

- 事業名 ゼロエミ・アクション 2050 連携プラットフォーム事業
○実施者名 サステナブルライフスタイル TOKYO 実行委員会 委員長 小宮山宏

1 事業概要と令和2年度の実施報告

1) 目的・位置付け

東京都が2019年末に取りまとめた「ゼロエミッション東京戦略」は、2050年にCO₂排出実質ゼロに向けた取組・ロードマップが策定された。その戦略では、「多様な主体と連携したムーブメントと社会システムの変革」として、消費者と企業と共にゼロエミ・アクションに取り組む行動の推進を目指すことを掲げている。これに対し、企業側も近年は個社での取組を超えて、NGOのイニシアティブ（RE100・SBT等）に参画するなど、多様な主体により脱炭素を推進することの重要性が益々認識されつつある。一方の消費者側も、新型コロナを契機に、自然・環境共生への意識が高まっているものの、自身のライフスタイルを見直す上で、日々の消費や選択に関する正しい環境知識や情報不足、ゼロエミッションな製品・サービスの選択肢が少ないと言った課題がある。そこで本事業では、江戸から受け継がれる日本人の知恵と、21世紀の先端技術・金融の力を生かし、人と自然、人と人、人と地域がつながり、人々の健康や福祉がより充実した、脱炭素でサステナブルなライフスタイルを広げるための、東京発の全国に開かれた“ゼロエミ・アクション2050連携プラットフォーム”を構築し、多様な主体と連携した「ゼロエミッション」の推進と同時に、SDGsの達成にも貢献する「サステナブル・リカバリー」を東京都と共同で進めることを目的とする。

2) 令和2年度の実施報告

① 実行委員会の開催

本事業の推進のため、今年度は3回の実行委員会を開催した。開催概要は以下の通り。

- 第1回サステナブルライフスタイル TOKYO 実行委員会
 - 日時：2021年1月18日
 - 出席者：小宮山宏委員長、小林光副委員長、鈴木敦子副委員長、吉高まり委員、梅原由美子委員、東京都環境局

- 主な議題：
 - ◇ 実行委員会規約について
 - ◇ 東京都採択通知について
 - ◇ 事業企画について
- 第2回サステナブルライフスタイル TOKYO 実行委員会
 - 日時：2021年2月24日
 - 出席者：小宮山宏委員長、小林光副委員長、鈴木敦子副委員長、吉高まり委員、梅原由美子委員、東京都環境局
 - 主な議題：
 - ◇ アンバサダープログラム募集
 - ◇ ウェブサイト、ロゴ、コンテンツ制作
 - ◇ アイデア・マッチングの流れ、ビジネスモデル
- 第3回サステナブルライフスタイル TOKYO 実行委員会
 - 日時：2021年3月16日
 - 出席者：小宮山宏委員長、小林光副委員長、鈴木敦子副委員長、吉高まり委員、梅原由美子委員、東京都環境局
 - 主な議題：
 - ◇ アンバサダー第1期候補者について
 - ◇ 協賛パートナープログラムについて
 - ◇ アイデア・マッチングの流れ、ビジネスモデル
 - ◇ 今後のスケジュール

② プレ・キックオフイベントの開催

本プラットフォームのプレ・キックオフイベントを開催した。ネーミング投票の結果は、「DO-nuts City TOKYO」に最多票が集まった。（商標・ブランディングなどの観点から、最終的には「DO!NUTS TOKYO」に決定）イベントの開催概要は以下の通り。

開催日時：2021年2月24日 11:15～12:00

開催方法：ZOOM ウェビナー

参加人数：約40名

イベント内容：本事業の紹介、アンバサダー・プログラムの募集発表、本プラットフォームのネーミング投票

イベント動画：（前編）<https://youtu.be/lzao-fFuLy8>

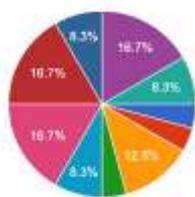
（後編）https://youtu.be/fs5hU_tryBw

- ・対象：環境・社会活動経験者、ソーシャル・インフルエンサー、社会起業家を目指す方等)
- ・年齢：18歳*～20代（学生または社会人、*平日の活動もあるため）
- ・言語：日本語または日・英等のバイリンガル
- ・活動期間：2021年4月～10月（希望により継続可）
- ・募集人数：10人程度
- ・応募期間：2021年2月24日（水）～3月10日（水）まで
- ・選考結果：応募者には3月17日（水）までに結果通知
（選考結果に関するお問い合わせは不可）
- ・主な活動内容：
 - 1) 学び：国内外の著名講師陣によるオンライン講義（全10回程度のうち5回以上参加）
 - 2) 発信：企業や行政等へのインタビュー企画、記事作成、SNS発信等
 - 3) アイデア提案：
 - ・アンバサダー活動修了までに、個人・グループ提案をアイデア・マッチングに応募、プレゼンテーション
 - ・アンバサダー1名につき、メンター1名が伴走。メンターは実行委員、または委員推薦により選定
 - 4) 交流：アンバサダーコミュニティ（現役・修了アンバサダー）での交流

【応募フォーム記載内容】

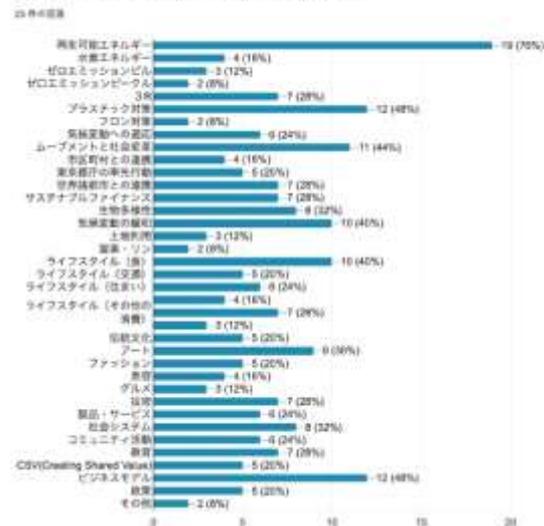
- ・氏名
- ・所属（学校名、組織名）
- ・年齢
- ・日常生活、学校や組織で普段使っている言語を教えてください。（複数回答可）
- ・上記で、英語または英語以外の言語を選んだ方は外国語のスコアを教えてください。英語の場合：TOEFL、TOEIC、IELTs等）
- ・IT、グラフィック、動画、SNS等のデジタルスキル、使えるソフトやアプリ等、その他、情報発信に関する得意なスキルがあれば教えてください。
- ・自己紹介（アピールや、これまでの活動など）を記載してください。（400字程度）
- ・これまでの活動の様子などが分かるSNSやブログ等があればリンクを記載してください。
- ・アンバサダーを志望する理由を教えてください。（400字程度）
- ・アンバサダープログラムを通して学びたいことを教えてください。（400字程度）
- ・アンバサダーの活動を終了した後の展望や、成し遂げたいことは何ですか？（400字程度）
- ・皆さんが、現在興味のある、もしくは取り組んでいるゼロエミッション・脱炭素テーマやアクションのカテゴリを選んでください。（5つまで、複数選択可能）
（「その他」を選んだ方は、具体的に興味のあるテーマ、アクションを教えてください。）
- ・選考の二次過程として、オンライン上のインタビューを行う予定です。以下に、面接が可能な日時を以下より3つ選んでください。面接時間は15分から20分を予定しています。

上記の募集を行い、応募内容に対して一次選考を実施した。年齢は18歳～29歳まで幅広く応募があった。関心のあるカテゴリでは、再生可能エネルギー、ビジネスモデル、プラスチック対策の順に高く、その他はムーブメントと社会変革、気候変動の緩和、ライフスタイル（食）、アートなどへの関心が高いことが分かった。一次評価は、熱意・積極性、学習意欲、意思の明確化・発信・協働、将来展望などの観点から行った。この一次評価で一定以上の評価の候補者に対し、面談を行い、二次選考及び実行委員会（第3回）での議論を踏まえて15名（大学生9名、社会人6名）を最終候補者として選定した。アンバサダーは、2021年4月より「学び」、発信、アイデア・マッチングでの活動を開始する。



【応募者の年齢】

皆さんが、現在興味のある、もしくは取り組んでいるゼロエミッション・脱炭素テーマやアクションのカテゴリを選んでください。（5つまで、複数選択可）



【応募者の関心カテゴリ】

④ プラットフォームの企画・開発及びオンライン・プラットフォーム（ウェブサイト）の構築

本プラットフォームで展開する、「学び」、「発信」、「アイデア・マッチング」の在り方に係る企画検討を行った。具体的には、市民等からのアイデアの募集・応募方法や、寄せられたアイデアをウェブサイトに掲載するまでのスクリーニングの在り方（内容確認・審査等）、アイデアを求める企業等とのマッチングの在り方等について、アイデアの知的財産としての取扱いに関する調査等を踏まえて検討し整理した（アイデア・マッチングの在り方については⑥で後述）。

こうしたアクションをすべてオンライン上で実施できる仕組みとするため、ウェブサイトの開発を行った。ウェブサイトの基本構成（概要）は以下の通り。また表示されるデバイスは、PC、タブレット、スマートフォンそれぞれに表示可能な設定とした。ドメインは、

donutstokyo.org を取得した（ブランディングに関する詳細は⑤で後述）。

併せて、アンバサダー・プログラムについての企画検討を行うとともに（詳細は③で既述）、協賛パートナー・プログラムの在り方等を検討した（詳細は⑦で後述）。

1) TOP

最新ニュースやコンテンツをサムネイルで表示。学び(Knowledge)や発信(Interview)、アイデア・マッチング (Idea Meets) の最新コンテンツも表示される。またアイデア・マッチングへの提案への導線として、「アイデア・マッチングとは？」の概要や「提案する」アイコンを表示するなど、誰でもどこからでも気軽に提案できるような見せ方を工夫

2) About

本プラットフォームについての説明ページ。DO!NUTS TOKYO の2つの意味の解説（ドーナツ経済学、DO Nuts(クレイジーになろう)）、運営体制、アドバイザー、協力団体、アンバサダーなどの本プラットフォームの事業概要を紹介

3) Idea Meets

アイデア・マッチングについては、About の概要に加え、より詳細の説明が必要であることから、Idea Meets のページを作成

4) Partners

本プラットフォームの協賛団体、協力団体等の一覧ページ

5) All Articles

学び (Knowledge) 、発信 (Interview) 、アイデア・マッチング (Idea Meets) それぞれで投稿したすべての記事が表示されるページ。すべての記事は、ゼロエミッションや提案のカテゴリーでの絞り込み表示ができる設計とした。また Idea Meets では、課題と提案の区別のほか、課題・提案内で同カテゴリーの投稿の表示機能も備えるなど、ユーザーが、関心のあるカテゴリーの記事を閲覧しやすくするための工夫を行った。

⑤ ブランディング・ロゴ開発

本プラットフォームを幅広い年代に広く浸透させ、東京から日本、世界にゼロエミアクションを発信するために、ブランディング戦略を導入した。具体的にはブランドアーキテクチャーの検討、ロゴの開発を行った。ネーミングについては、投票で選ばれた「DO-nuts City Tokyo」について、「ブランド展開の可能性」や「商標登録の可否」「簡潔性」などの Naming Principle に沿って更にブラッシュアップした。

以上の点を考慮し、ネーミングは「DO!NUTS TOKYO」に決定した。またウェブサイトや SNS 等での Look & Feel を統一するための、ビジュアルのガイドラインを策定した。

⑥ アイデア・マッチングシステムの検討

市民等からのアイデアの募集や応募方法や、寄せられたアイデアをウェブサイトに掲載するまでのスクリーニングの在り方（内容確認・審査等）、アイデアを求める企業等からの課題提案や寄せられたアイデアとのマッチングの在り方・ルール等について、アイデアの知的財産としての取扱いに関する調査等を踏まえて企画検討した。

検討結果を踏まえたアイデア・マッチング（Idea Meets）の主なフローは以下の通り。今後、運用しながら、策定したマッチングルールの改正等を行っていく予定

・企業等からの課題

- 1) ウェブサイトから問い合わせ
- 2) 課題に関するインタビュー、記事作成、ウェブサイトに投稿
- 3) 一定期間ウェブサイト上で提案の募集

・アイデアの提案

- 1) ウェブサイトから提案を入力
- 2) 政策、ライフスタイル等の一般公開可能な提案は、内容確認後にウェブサイト上で公開
- 3) ビジネス提案は、個別にマッチング候補企業へ提案、あるいは外部のアクセラレーションへ推薦

⑦ 協賛パートナー・プログラムの検討

令和3年度以降の事業の円滑な運営や寄せられたアイデアの適正な活用に向けて、参加企業等から拠出いただくための協賛パートナー・プログラムの在り方についてマーケティング等も行いながら企画検討した。

主なメニューとして、自社製品・サービスの環境取組を PR していただくための発信の場 (Interview)に参加いただく協賛、アイデア・マッチング (Idea Meets)に課題を提供いただく協賛メニューの他に、活動全般に協賛いただくメニューなどを整理し、パートナー募集のための説明資料案を作成した。今後、具体的な料金設定について実行委員会で決定次第、候補企業への提案を行う (令和 3 年度から実施)

	内容		媒体		マッチング	CFP	詳細・料金
	インタビュ記事	インタビュー動画	Do-Nutsオンライン	メディアパートナー	Idea Meetsへの課題掲載	製品・サービスのCFP	
Interview 協賛プログラム	○	○	○	オプション (1)	—	オプション (2)	(ベーシック) ・ ●●万円/件 (企画、取材、撮影、編集、配信) ・ 記事 (3,000字程度) + 動画(15分程度) ・ 製品・サービスのライフサイクルにおけるゼロエミ取組発信 ・ アンバサダーによる担当者への取材 ・ 専門家によるコメント付き * 動画を希望しない場合は●●万円 (オプション(1)) ・ メディアパートナーごとに別途料金 (オプション (2)) ・ 希望に応じてCFP算定別途支援
Idea Meets 協賛プログラム	○	○	○	オプション	○	—	(ベーシック) ・ ●●万円/件 (企画、取材、撮影、編集、配信) ・ 記事 (3,000字程度) + 動画(15分程度) ・ 企業のゼロエミ・ゼロカーボン、SDGs、サステナブルリカバリー実践における課題の発信 ・ アンバサダーによる担当者への取材 ・ 課題への提案募集 ・ アンバサダーによる提案 ・ 一般からの提案とのマッチング (オプション) ・ メディアパートナーごとに別途料金

⑧ 学びの場 (Knowledge) のコンテンツ制作

ウェブサーバーに掲載する「学びの場」コンテンツは、若い世代にも関心を持って見てもらえるコンテンツを考慮し企画した。具体的には、「気候危機ってホント!?!」「脱炭素社会ってどんな社会ですか?」「身近にできるゼロエミアクションを考えてみよう!」「カーボンフットプリントを知ろう!」「先進企業の取組を知ろう!」をコンテンツ案として設定し、その中で発信する内容案の作成を行った。この内容に即して、令和 3 年度から、ゼロエミミッションに関する専門家からの説明をうけるような形式で、ウェブサイト上に掲載していく。

また、ライフスタイル・カーボンフットプリント (食) に関する記事を作成した。令和 3 年度には、東京都のゼロエミッション戦略や、その他の関心の高いテーマについて、国内外からの話題を継続的に発信していく。

2. 本事業の実施体制

1) 実施主体

サステナブルライフスタイル TOKYO 実行委員会

・ 実行委員

(委員長) 小宮山宏 ((株) 三菱総合研究所理事長、プラチナ構想ネットワーク会長)

(副委員長) 鈴木 敦子 ((株) 環境ビジネスエージェンシー代表取締役)
(副委員長) 小林光 (東京大学総合文化研究科客員教授)
(委員) 吉高まり (三菱UFJ リサーチ&コンサルティング (株) 経営企画部副部長)
(委員) 梅原由美子 (Value Frontier (株) 代表取締役)

*各個人が個人名で参画している。

・運営事務局 Value Frontier (株) 実務、広報、営業、経理事務等 (実行委員会から事務局業務を受託)

・協力団体

- ・プラチナ構想ネットワーク (後援)
- ・一般社団法人サステナブル経営推進機構等 (協力)
- ・(株) Freewill (協力)
- ・Creativity is everywhere
- ・(株) ダブルボランチ

・アドバイザー

(株) クレアン 代表取締役 菌田綾子

(株) 環境エネルギー総合研究所 代表取締役 大庭みゆき

(株) TREE 編集ディレクター木村麻紀

一般社団法人ロハス・ビジネス・アライアンス共同代表大和田順子

一般社団法人コンサベーション・インターナショナル・ジャパン代表理事日比保史

MSC 日本事務所 ディレクター 石井幸造